

第13回 メンタリングサロン

LIFESHIFT の時代 – ワーク&ライフ 私たちの場合

「女性が活躍できる社会に！」といわれて久しいですね！しかし現実には男女の格差を示すジェンダーギャップ指数が114位と過去最低を記録したり、大学入試で女性だけに試験点数の操作が行われたり、果たして差別が解消される方向なのかは疑問です。

一方、20・30代の若い世代を中心に、男女が共に家事育児に関わり、しなやかにワーク&ライフを組み立てる人たちが徐々に増えてきて、確かに少しずつ社会は変わりつつあります。

人生100年時代と話題になった“LIFESHIFT”。支えあうこれからのパートナーシップや生涯を見据えたキャリアの描き方、ワーク&ライフについて、2組のご夫婦に話題提供いただきながら、もう一度考えてみませんか？

若い方はもちろん、自分の部下や同僚・子供世代のリアルを知っておきたい50代以上の方にも、これからを考えるヒントが満載です！男性・女性、会員以外の方も、お気軽にご参加ください。



<日時・場所> 2018年 9月17日(月・休日) 13:30~16:00

東京ウィメンズプラザ 第1会議室

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B2出口から徒歩7分

<プログラム>

13:15-13:30 受付 *保育を希望される方は13:15までにはお越しください。

13:30-13:40 イントロダクション

13:40-14:20 話題提供 ①松本・小寺夫妻 ②広住夫妻

<休憩>

14:30-15:45 グループディスカッション

15:45-16:00 クロージング

【参加費】 JWEF会員は無料、非会員は1000円をお願いします。

【申込方法】 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/d8f711b0584821> または上記QRコードから事前登録を
9月15日までにお願いいたします。(保育の希望の方は9月5日までにご連絡ください)

【問い合わせ先】 JWEFメンター部会 jwefmentor@gmail.com 担当：山口、永合

【主催】 日本女性技術者フォーラム <http://www.jwef.jp/>



話題提供①：松本・小寺夫妻プロフィール

松本郁美（妻）：1983年北海道生まれ。
数理環境科学専攻修了し、2008年就職により茨城県へ。
現在まで医薬品原薬のプロセス開発に従事。

小寺孝憲（夫）：1981年長野県生まれ。
応用化学専攻修了し、2009年就職により茨城県へ。
現在まで医薬品原薬のプロセス開発に従事。

2012年結婚。2014年長女、2017年長男誕生。

2人の子供の育児休業は、お互いの研究職としてのキャリアも考慮して、妻の産後休暇（2ヶ月）+妻の育児休業（5ヶ月）+夫の育児休業（5ヶ月）で計1年ずつ取得。田舎暮らしなので保活などの苦勞は少ないですが、子育てと仕事の両立に試行錯誤しながら挑戦しています。



話題提供②：広住夫妻プロフィール

広住亜季（妻）：1978年青森県生まれ。
2001年就職、食品添加物製剤の開発に従事。

広住 仁（夫）：1973年静岡県生まれ。
1998年就職、青森県中学技術科教員19年、退職後、
デジタルものづくり工房ZumiLabo開設(zumilabo.com)

2008年結婚。2010年長女、2013年次女誕生。

育児休業期間：（1回目）妻の産後休暇（2ヶ月）+妻の育児休業（2ヶ月）+夫の育児休業（5ヶ月）
（2回目）妻は産後休暇（2ヶ月）+育児休業（3ヶ月）で仕事復帰、夫は出産1ヶ月後から10ヶ月育児休業取得

妻は東北の中小企業で食品添加物製剤の開発を行っていた。第二子出産後、会社から配慮され事務職へ転属。2年間事務職をして学ぶことも多かったが、自ら企画して0から創り出す開発の仕事が面白かったということに気付く。会社にかけてあったが、この先もずっと事務職と言われる。生涯働き続けようと考えていたため、開発の専門性を磨いていた方が将来的に良いだろうと考える。夫の父親が亡くなったのを機に、妻は埼玉の別企業へ開発職として転職。夫は「自分はどうにでもなる。家族が優先。」と教員を退職し起業、現在に至る。

